



市民記者が行く!!

かめやま見てある記

レトロモダンな銭湯



関町のまちなみ沿いの東側に、50年ほど前まで営業していた銭湯があります。江戸期の町屋の多い関のまちなみの中では珍しい洋風の外観で、以前から気

になっていたこの建物の中を見学させていただきました。

もともと銭湯だった1階部分正面はモルタル造りで、正面には3つの入り口があります。右の2つの入り口の上には、「男」、「女」と書かれた曇りガラスがあって、夜には中の明かりが漏れ出て文字が浮かび上がる造りになっていたようです。



浴室は細長く、湯船は直径2.6メートルほどの半円形で、浴室や脱衣所から洗い場へ入るところの

細かいタイルの色使いが可愛らしくて素敵でした。今はご親戚の家の近くにお住まいだそうです。こちらに嫁いだ80代の女性が、最近までこの建物で一人暮らしをしていました。何年か前、私の長女がよちよち歩きだった頃、散歩をしていると、よくにこやかに声を掛けてくれました。

ある時、建物に入っすぐの応接間のようなところに招き入れていただいたことがあります。そのとき、「(銭湯営業当時は)この部分は床屋さんだったのよ」と教えてもらいました。おそらく、写真の大きな鏡に向かって散髪用のイスが並んでいたのではないのでしょうか。お客さんは、散髪をした後に銭湯ですっきりできて気持ち良かったのだでしょうね。



今回見学させていただいたこの建物のように、魅力的で歴史を刻む建物は、無くしたくないまちの財産だと改めて感じました。

市民記者 瀬永 千恵子さん

ハロキッズ

このコーナーでは、元気な亀山っ子の写真を募集しています。掲載を希望する人は、広報秘書グループ(☎84-5021)へご連絡ください。



かなたに 金谷 咲良 ちゃん 平成31年1月23日生まれ

あなたの笑顔は、元気の源です!ママより



ふくにし 福西 ゆえ ちゃん 令和2年2月10日生まれ

いつも笑顔でいてね!大好きだよ♡